

一宮女学園創立者のご紹介

創立者
吉田 萬次（昭和33年12月21日 ご逝去）



高校 正門前

学校法人 一宮女学園の創立者吉田萬次先生は、明治25年3月2日にご誕生され、昭和33年12月21日 享年67歳でご逝去されました。

医師であり、政治家であった先生は昭和初期、毛織物工場を中心に大変栄えていたこの一宮市において、青少年に対する商業教育がなおざりにされている現状を憂い、愛知県に対し、男子・女子それぞれの商業学校の設置を強く働きかけられました。

昭和13年、一宮市内に男子の商業学校（現 一宮商業高等学校）が設立されましたが、女子の商業学校設立は見送られました。その後も吉田萬次先生は、女子教育の重要性を愛知県に対し請願されましたが受け入れられず、昭和16年自らが私財を投げ打ち一宮女子商業学校を設立されました。現在の一宮女子高等学校であり、卒業生は2万人に達し、各界でご活躍されてみえます。

吉田萬次先生は胸像の顔のように優しく穏やかな方でありましたが、大変厳しく、一度思い立った事は必ずやり遂げるという情熱と信念を内に秘められた方であり、医師として政治家としてまた教育者として一宮市はもとより、全国においてご活躍された偉大な方でありました。

吉田萬次先生についての書籍が、高等学校図書館に所蔵してあります。是非ご覧ください。

『戦災餘談』 吉田萬次先生著 『吉田萬次先生遺稿集』

一宮女子短期大学創立者のご紹介

第二代理事長
吉田 武郎（平成14年1月15日 ご逝去）



短大 7号館前

吉田武郎先生は、故吉田萬次先生（学校法人一宮女学園初代理事長）の長男として大正11年4月19日一宮市に生を受けられました。昭和医学専門学校に進学し、医師免許状を取得されました。

医師・教育者・研究者として、高い教養と豊かな情操さらに高度な専門的知識と技術を身に付けた女性の育成を目的とした教育の必要性をいち早く感じとられ、昭和30年4月、「社会に貢献する女性の育成」という建学の精神を基盤に一宮女子短期大学を開設されました。

加えて「人間形成には幼児期の教育が重要である」との信念のもと、同年4月に一宮幼稚園を、昭和44年4月に藤ヶ丘幼稚園を開設されました。

短期大学においては女子勤労者に対して大学を開放することで勉学の機会を与えると同時に、地場の繊維産業の発展にも寄与するため、一宮市、一宮商工会議所等のご協力のもと、昭和44年に第三部（昼間交代制）を設置されました。

先生は「和の精神」を座右の銘とされておりました。晩年は、体調を崩された後も「学生達の顔を見たい」「この学校が好きで、学校で死ねたら本望だ」とおっしゃられて、毎日のように学校へいらっしゃいました。いつも学園の行く末を考えられ、多くの卒業生をはじめ、教職員からも愛され続けておられました。